

第1学年「たべのこし、どうする？」（特別活動）

2 食糧を
ゼロに



1 本時の目標【立ち向かう力】

食べ残しを減らすために、これからどのように野菜を食べるかすすんで考えることができる。

2 授業展開

- ①給食の食べ残しの量や食べ残しが多いものについてのクイズに答える。
- ②実際に野菜を見て、名前と栄養についての理解を深める。
- ③今日の給食の野菜について考える。
- ④明日の給食の野菜についても考える。
- ⑤これから野菜を食べるときどうしたいか考えをもち、友達と交流する。



野菜クイズに答える児童

3 誰一人取り残さない

クラスで実際に食べ残す量や今日、明日の給食を取り上げ、自分事として考えられるようする。

4 児童の感想

苦手な野菜が出て、少しがんばって食べてみて、残しがなくなるようにしたいです。

第2学年「あったらいいな、こんなもの」（国語）

17 パートナリシップで
目標を達成しよう



1 本時の目標【共創する力】

話し手、聞き手の立場になって、説明したり質問したりすることができる。

2 授業展開

- ①道具をパワーアップさせる質問を振り返る。
- ②話し合いの仕方を確認する。
- ③教師を相手に学級全体で話し合いの練習をする。
- ④横の座席の児童でペアを組んで話し合い、成果や課題を共有する。
- ⑤前後の座席の児童でペアを組んで話し合い、考えた道具についての工夫を重ねる。



ペアで話し合う児童

3 誰一人取り残さない

相手の話を受け止めてから反応する活動を通して、他者と共創していく力を身に付けさせる。

4 児童の感想

友達は質問を聞き取ってくれて、聞きたいことをちゃんと答えてくれて、工夫ができた。

第3学年「太陽の光を調べよう」（理科）

13 気候変動に
具体的な対策を



1 本時の目標【共創する力】

日なたと日陰の地面の温度を比較し、日光が地面を暖めていると考えることができる。

2 授業展開

- ①観察した日なたと日陰の温度記録を共有する。
- ②結果から日なたと日陰の地面の暖まりの違いについての自分の考えをもつ。
- ③それぞれの考えを発表し合うことを通して、クラスの考えをまとめる。
- ④今日の学習がどのSDGs（持続可能な開発目標）と関連しているか考える。
- ⑤太陽と地球環境の関係についての話を聞く。



考えを発表する児童

3 誰一人取り残さない

少人数（1グループ3人）で観察を行えるようにし、全員が意欲的に観察できるようにする。

4 児童の感想

開発をたくさんして、森が減って日なたが多くなってしまっていて、地球が暑くなっていると思う。

第4学年「水害からくらしを守る」(社会)

11 住み続けられるまちづくりを



13 気候変動に具体的な対策を



1 本時の目標【行動する力】

水害からくらしを守る方法をすすんで考え、自分の考えを表現することができる。

2 授業展開

- ①映像を通して、水害の怖さを感じる。
- ②水害からくらしを守る方法について考える。
- ③自分の考えを一人1枚短冊に書き、黒板に貼って考えを共有する。
- ④考えた内容ごとに仲間分けをし、場に応じた取組があることを知る。
- ⑤意見交換をし、自分が考える水害対策を発表する。

3 誰一人取り残さない

普段から自分の考えを短冊で書く活動を重ね、考えを言語化できるようにする。

4 児童の感想

くらしを守るための対策で、「あったらちょっと被害が減るかな。」と思う意見が多くあった。

第5学年「これからの食料生産とわたしたち」(社会)

2 目標をゼロに



1 本時の目標【共創する力】

日本の食料生産の課題を知り、解決するにはこれからどうすれば良いか考えることができる。

2 授業展開

- ①日本の食料生産の課題(自給率の低下、後継者不足、膨大な食品ロスの問題等)を確認する。
- ②課題に対する解決策を個人で考える。
- ③同じ課題ごとのグループに分かれて、解決策を考える。
- ④解決策を学級全体で共有する。
- ⑤自分には何ができるか考える。



考えを交流し合う児童

3 誰一人取り残さない

毎時間学習感想を書く時間を設け、児童の学習状況や考えを把握する。

4 児童の感想

いっぱい食品が無駄になっていることを、みんなに知らせることが必要だと思った。

第6学年「私たちにできること」(国語)

12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



1 本時の目標【立ち向かう力】

身の回りにある問題から、提案する文章のテーマを自分なりに考えることができる。

2 授業展開

- ①地球温暖化クイズを振り返る。
- ②学習課題を知る。
- ③提案する文章とは、どういうものなのかを知り、活動の見通しをもつ。
- ④誰に対しての提案文か、伝える相手を明確にする。
- ⑤各自で提案するテーマを考え、友達と情報交換をする。



クイズを振り返る児童

3 誰一人取り残さない

自分の考えをもった上でグループでの情報交換を行わせ、他者の考えを参考にさせる。

4 児童の感想

身の回りの整理整頓を提案したい。自分のことができなければ、世界を変えるのは難しいと思う。

図画工作「切って ひねって つなげると…!!」(第2学年)

12 つくる責任
つかう責任



1 本時の目標【行動する力】

物の見方や考え方を変えることで、活用価値を知り、発想の転換により新しいものを自らの力で創り出すことができる。

2 授業展開

- ①牛乳パックを切り落とさないように切り開く様子を見せる。
- ②回して切ったり、幅を変えてみたりしながら形のおもしろさに気付く。
- ③感性を生かし、思いつくままに創作活動に取り組む。
- ④出来上がった作品の工夫や思いを発表する。



切った形を見せる児童

3 誰一人取り残さない

失敗を失敗とせず、試行錯誤が何度もできるよう牛乳パックを複数枚用意した。

4 児童の感想

最初はなんだか分からなかったけれど、切っていたら鳥になったのが楽しかった。

特別支援学級（知的障害）「SDGs マスターになろう」(総合的な学習の時間)

6 安全な水とトイレ
を世界中に



1 本時の目標【立ち向かう力】

世界には安全な水が使えない国がたくさんあることを知り、今できること考えることができる。

2 授業展開

- ①授業の流れを知り、SDGsの歌を歌う。
- ②水道水、池の水、泥水を見て、安全な水の意味を知り、目標6の意味を深める。
- ③ユニセフ監修の動画を視聴して、水を得るのに大変な国もあることを知る。
- ④自分ができることを一人一人発表してから、ワークシートにまとめる。
- ⑤学習を振り返り、一人一人の取組を肯定的に受け止める。



ユニセフ動画を見る児童

3 誰一人取り残さない

児童一人一人の考えや思いを様々な方法で発表させ、板書し、共有する。

4 児童の感想

川にごみを捨てない。汚い水を飲んでいる人にきれいな水をあげたい。

特別支援学級（情緒障害）「動物たちとなかよく」(自立活動)

15 種の豊かさ
を守ろう



1 本時の目標【立ち向かう力】

動物を飼育するために必要なことを知り、自らどのように取り組めるか考えることができる。

2 授業展開

- ①授業の流れを知り、一人一人の動物を飼育したい思いを確かめる。
- ②実際に飼育動物（ヤギと烏骨鶏）の小屋をみんなで掃除してみる。
- ③箒で糞を集め、きれいにすることを通して、世話をする大変さを経験する。
- ④糞や食べ残しを甲虫の幼虫が食べて糞をすることで肥料になることを知る。
- ⑤実際に行った活動を通して、動物飼育に対する思いを発表する。



ヤギ小屋を掃除する児童

3 誰一人取り残さない

糞だらけの小屋を掃除したときの素直な反応を肯定的に捉え、個の思いを尊重する。

4 児童の感想

ヤギの糞も幼虫の食べ物になって、またその糞が学校の畑の肥料になって、エコだと思った。